

指定管理者制度導入施設の将来ビジョン案

施設名	大分県林業研修所
所在地	由布市湯布院町川北899-91
県の所管部局(課・室)	農林水産部林務管理課
設置年月日	昭和56年4月1日(設置から40年)※令和4年4月1日現在
設置目的	林業技術の改善及び林業経営の合理化に資するため、林業に関する研修教育を行うとともに、林業後継者、林業従事者等の利用に供する。
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

【検討結果】

施設の今後のあり方

存続 (利活用)	存続 (整理統合)	廃止
理由	当該施設は、林業の生産性を高め、循環型林業を担う人材の育成を目的として、林業就業者に必要な技術研修を行うとともに、林業に触れる場の提供など新規就業者の確保に努めており、今後も林業就業者の技術向上や就業支援まで一体的に取り組む必要があるため。	
管理 方法の 検討	林業就業者の技術向上や就業支援まで一体的に取り組む県内唯一の施設という特徴を活かし、林業就業者の養成に資する施設として適切な管理運営を行う。 研修フィールドを含めた広大な施設と特殊な林業機械の管理経費の削減や、利用者の利便性の向上などの面で、林業関連団体など専門性が高い民間事業者のノウハウを活用するメリットが大きいため、今後も指定管理者制度を継続する。	

ビジョンの設定期間

ビジョンの設定期間	令和5年度～令和14年度
次回策定(中間見直し)	令和6年度
次回指定管理者公募予定	令和7年度7月

存続の場合

1. 目指すべき施設像及び利用者像等

施設像	林業に必要な資格の取得や特別教育・技能講習を受講でき、林業就業者の確保・育成を行う施設。 また、林業を学び、チェーンソーなどの基本的な機械や作業に触れ、林業の魅力を感じることができる施設。		
利用者像	林業機械の資格取得や特別教育・技能講習を受講すること等により、生産性の向上や安全作業の徹底を目指す林業就業者。 また、高校生やUIJターン者など、林業への興味関心がある方や就業を考えている方。		
定量的 目標達成指標	①	研修受講延べ人数の 増(人)	令和5年度～令和7年度 3,900人／年 令和8年度～令和14年度 4,000人／年
	②	研修満足度の維持 (%)	令和5年度～令和7年度 98以上 令和8年度～令和14年度 4.8以上 (満足度5段階評価)
定性的 目標達成指標	①	利用者及び主催者の満足度を向上させるため、アンケートなどで寄せられた意見をもとに、研修項目の見直しや施設・機械の機能充実に取り組む。	
	②	実技研修の充実を図るため、常設的な林業研修フィールドを確保する。	
	③	新規就業者確保のため、高校生やUIJターン者などに対する広報活動や体験研修等を充実させる。	

2. 目指すべき像を達成するための課題とその解決策、実施方法・実施時期（解決への優先順に記載）

課題1	人口減少・少子高齢化に関する課題（必須）
人口の減少に伴い、林業就業者数の減少が懸念される中、林業の成長産業化を進めていくために必要な、機械化・ICT化に対応した高い生産性を有する人材の育成が進んでいない。	
解決策	研修項目を見直し、伐木等機械、走行集材機械、架線集材機械の特別教育やICTなど新たな技術に対応した研修を充実させることとする。一方で、民間の教習機関でも開催するなど研修所でのニーズが低い技能講習は縮小・廃止とし、より現場の実情に即したサービスの提供を行うこととする。加えて、林業技術の習熟度に応じたスキルアップ研修を行う。 また、現場で普及している機械での研修ができるよう、林業機械の計画的な更新を行うとともに、研修フィールドや講師の確保・養成に努める。
実施方法・実施時期	・研修項目の見直し（令和5年度～） ・機械・備品の見直し、更新計画の作成（令和4年度～） ・機械に精通した講師の確保・育成（令和5年度～） ・研修フィールドの確保（令和5年度～） ・講師単価の見直し（令和9年度～）

（参考）	令和3年度(2021年度)	令和12年度(2030年度)	令和27年度(2045年度)
予測利用人数(人)	2,551	3,489	2,999
直近年度比		136.77%	117.56%

課題2	新規就業者の確保に関する課題
新規就業者の確保に向け、林業に関心を持ってもらえる機会が少ない。	
解決策	・林業体験研修やHPコンテンツの増加など、林業の魅力を発信する研修・広報を充実させるとともに、林業団体等に対し施設活用についてのPR活動を一層強化する。
実施方法・実施時期	・林業体験研修など、林業の魅力発信をおこなう研修を充実させる。（令和5年度～） ・林業就業者のニーズを掘り下げ、資格取得や技能講習等にとらわれず、安全性の向上や技術の向上に繋がるような研修を充実させる。（令和5年度～） ・林業団体等の活動も積極的に林業研修所で実施してもらえるようPRを強化し、より一層の魅力発信に努める。（令和4年度～）

課題3	施設管理に関する課題（必須）
本施設が、林業の教育の拠点としてあり続けるには、コロナ禍における研修の開催方法(研修人数の制限、消毒の徹底)への対応はもちろん、利用者のニーズの変容を的確に捉え、老朽化が進む施設・機器を適宜適切に更新していく必要がある。	
解決策	感染症対策に必要なサーモグラフィ等の整備を行うとともに、指定管理者に対して万全の受け入れ体制の確保を求める。 大規模修繕を計画的に実施し、指定管理者により予防修繕を通じた安全性の確保と設備・機械の長寿命化に努める。 利用者及び主催者向けアンケートの実施・回収に力を注ぎ寄せられる意見を施設の機能充実やサービス向上に可能な限り反映する。
実施方法・実施時期	・サーモグラフィ等の整備（令和2年度） ・大規模改修工事（屋根、外壁等の塗り替え等）の実施（令和2年度） ・小規模修繕工事の的確な実施（令和4年度～）